

Meraki II ワークシート (7月27日)

D (前回の続き) “Introduction” と “References” をつくる (探究活動メソッド p.26~p.29)

例1 興味のある事物から課題を見出し、過去にはない研究テーマを設定!

Introduction

カレーライスには多くの日本人に好まれ、好きな食べ物の上位に入る (*1)。主な栄養素として炭水化物、脂質があり、肉や野菜を入れることでタンパク質やビタミンを補うことができる。

一方、日本人は、栄養バランスに不足があるといわれている。特に、ミネラルの代表格であるカルシウム、マグネシウム、カリウムなどが不足しやすいことがわかっている (*2)。

そこで、これらのミネラルを補う食材として、ナツメ (棗) に注目した。ナツメは中国にみられる樹木であり、その「1日3個食べると年をとらない」といわれている (*3)。そして、不足しがちなカルシウムなどのミネラルを多く含んでいる (*4)。

なお、ナツメを用いた薬膳カレーなどはすでに開発されている (*5)。一方で、「カレーの効能・効果と新規レシピの考案」という研究 (*6) では、カレーの利用方法はカレーライスに限られていることを指摘し、カレーを用いたその他のレシピの考案 (カレーのリゾット、鍋など) を行なっている。

そこで本研究では、ミネラルを摂取することのできるカレーとして、ナツメを食材とした様々なカレーのレシピを考え、カレーを通じてミネラルを摂取するうえで好まれるレシピを、明らかにすることとした。

興味のある事物・現象を示す。
その位置づけを、根拠を踏まえて紹介する。

関連する課題を示す。
課題についても根拠を示す。

課題を解決するための手がかりを示す。

過去の研究を調べ、どこまでが分かっているのかを示す。

すでに分かっていることを踏まえて、課題を解決するための独自の視点を示す。

References

参考文献

*1~*5 インターネット上の資料を正しい方法で掲載

*6 栗 彩子, *森 美紗希, *宮内 莉華, 谷口 (山田) 亜樹子 (2017) 「カレーの効能・効果と新規レシピの考案, 日本調理科学会大会研究発表要旨集」 2017, 29 巻,

Google Scholar で調べたものを元に作成!
参考文献と引用文献を分けて書いてください。
引用文献がなければ、参考文献のみ記載。

例2 興味のある現象について突き詰める！

Introduction

着衣の認知と呼ばれる現象が A. Galinsky (2012) により提唱された。

Hill & Barton (2005) によれば、アテネオリンピックの4つの種目(ボクシング、テコンドー、レスリング・グレコローマン、レスリング・フリースタイル)にて、赤色のユニフォームを着た選手が青色のユニフォームを着た選手に対して有意に勝率が高かった。また、加藤(2017)では、ボクシングのシナリオを想定し、質問紙に対する回答やサンドバッグを叩く回数などを調べた実験により、青色のユニフォームを着ることで攻撃性が抑制されることが示された。

本研究では、色の異なるユニフォームを着た者同士で団体競技を行った際に、同様に結果の違いが生じるのかを調べることを目的とした。種目は、実施体験者が多く、攻撃性が反映されやすい球技であるドッジボールとした。過去の研究結果から、赤色のユニフォームを着用した側が青色のユニフォームを着用する側よりも勝率が高くなると仮説を立て、競技を実施した。

興味のある事物・現象を示す。

その位置づけを、根拠を踏まえて紹介する。

[推奨!]

「○○(20XX)によれば…」過去の研究は、このようにして要点を示すことが望ましい。

すでに行っていることを踏まえ、自分たちが新たに取り組むことを示す。

(この時点で仮説が示せる場合は、仮説を述べる。)

冒頭に、タイトルを。

References

参考文献

- Adam, H., & Galinsky, A. D. (2012). Enlothed cognition. *Journal of Experimental Social Psychology*, 48(4), 918-925.
- Hill, R. A., & Barton, R. A. (2005). Red enhances human performance in contests. *Nature*, 435(7040), 293-293.
- 加藤樹里(2017) 赤色または青色の衣服の着用がスポーツ場面での攻撃性に及ぼす影響 心理学の諸領域 Vol. 6 No. 1 61-67

注意するところは、例1のReferencesと同じです。

方法

- ・まずは、グループの各自で Introduction を作ってみる。
- ・各自が作ったものを持ち寄り、良い形にする、
- ・前回のシートに4, 5を設けて、良い形になった Introduction、References を入力する。

提出

- ・途中までの段階で構わないので、共有ドキュメントを各 Classroom に提出してください。

エネルギー1班 研究計画 タイトル

(○組△△、○組△△、○組△△、○組△△)

1

① ○○

② ○○

③ ○○

2

調査1 (調べたひとの名前)

① ○○

}

3

①

②

③

4 Introduction を作成

5 Reference を掲載

共有ドキュメント作成のイメージ